



ふれあい西本郷小

令和2年度

7月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより

令和2年 6月30日(火)

一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本郷小の子

キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

安全な登下校に感謝

校長 佐久間 宣朝

沿道のアジサイが日ごとの雨で色合いを増し、通りかかる人々に語り掛けるようです。

長期の休校が明け、1か月がたちました。7月1日からは給食も再開し、通常の時程で授業を行います。1年生から「初めての給食がとても楽しみ。」という声が聞かれました。

制約も多かった6月の午前授業でしたが、よいこともありました。それは1年生の下校です。6月12日までは方面別に教師が引率し、出迎えてくださる保護者の方をお願いしました。6月15日からは1年生がそれぞれで帰るようになってい

高学年が1年生を優しくリード



ました。通常の4月であれば、給食を食べて、一休みしてからの下校です。しかし、30℃も超す暑さの中、空腹での下校で体調面も心配されました。そこで、高学年の児童に1年生と一緒に下校して、安全な歩き方を教えることをお願いしました。すると、登校班の班長が1年生を連れて下校してくれました。1年生が体育館前のところで待っていると、お兄さんお姉さんが迎えに来てくれました。1年生は迎えに来てくれたことがわかると、明るい笑顔となり、嬉しそうに一緒に帰っていました。この下校のスタートにあたり、6年生は体育館で集会を開き、どのようにして1年生を連れ、安全に下校をするかを話し合っ

ボランティア、保護者の活動



て準備をしていました。子どもたちの中で、やさしさや思いやの心が広がり、同時に最高学年の自覚が育ったようです。登下校の様子を見るために、朝と下校時に学区を歩いてみました。すると、たくさんの方が子どもたちのために、登下校を見守ってくださっていました。松ヶ丘方面から学校までの間、地域の方がボランティアとして児童の安全を温かく見守ってくださっていました。現在お孫さんがいるわけでもなく、近くに住んでいるからと道に立って、自動車や自転車から児童を守ってくださっていました。本当に頭の下がる思いでした。また、その他にも毎朝児童と共に歩き、学校まで来てくださっている保護者の方が数十名います。本当にありがたいです。あるお母さんの行動にも驚きました。自分のお子さんの登校班と歩いていましたが、その列が前の班に追いつくとかけ足となりいくつもの班を追い越しました。数十メートル先の路地の交差点にたち、児童の横断を誘導していました。その路地は抜け道になっており、自動車や自転車が飛び出すことがあり、大変危険な路地だったのです。また、大道の信号の横断歩道にも、交代でお母さんが立ってくださっていました。

こうした多くの皆さんのお子への愛情が、陰の努力が、いくつもいくつも重なり、今日も無事故の登校、安全な登校がつくられています。こうしたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。